



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月29日

上場会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 コード番号 4765 URL <https://www.sbiglobalam.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 小笠原 靖行
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

上場取引所 東
 TEL 03-6229-0812

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	15,824	82.9	2,838	56.9	3,202	55.1	1,759	35.3
2025年3月期第3四半期	8,652	14.2	1,808	8.3	2,064	2.8	1,300	3.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,366百万円 (203.8%) 2025年3月期第3四半期 778百万円 (-31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 17.78	円 銭 17.75
2025年3月期第3四半期	14.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 49,753	百万円 39,558	% 61.5	円 銭 221.72
2025年3月期	18,258	15,410	83.5	169.98

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 30,595百万円 2025年3月期 15,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭 8.75	円 銭	円 銭 13.25	円 銭 22.00
2026年3月期		9.00			
2026年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期の配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

業績予想につきましては、未定であります。

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 11 社（社名） 、 除外 社（社名）

SBI岡三アセットマネジメント株式会社、SBI岡三オルタナティブ・インベストメント株式会社、OCP1号投資事業有限責任組合、
OCP2号投資事業有限責任組合、レオス・キャピタルワークス株式会社、レオス・キャピタルパートナーズ株式会社、
RheosCP1号GP有限責任組合、RheosCP1号投資事業有限責任組合、フィナップ株式会社、株式会社Kiffy、
レオス・エンジェル1号投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
以外の会計方針の変更	：無
会計上の見積りの変更	：無
修正再表示	：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	137,996,343 株	2025年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	49 株	2025年3月期	125 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	98,987,667 株	2025年3月期3Q	89,673,477 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年3月期の配当予想)

2026年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年1月29日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況	2
(2) 当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)の日本の金融市場においては、10月27日に日経平均株価が史上初めて5万円を突破し、その後も高値圏を維持したまま大納会を迎えたほか、12月には日本銀行が約1年ぶりとなる利上げを決定する等の動きがありました。この中で当社の業績は、上述の日本経済の状況や複雑な世界経済の中にあっても総じて堅調であり、売上高、各段階の利益の全てで過去最高を更新することとなりました。

当社がグループを挙げて推進するアセットマネジメント事業におきましては、12月に当社が旧SBIレオスひふみ株式会社を吸収合併した結果、レオス・キャピタルワークス株式会社等が当社の子会社として連結業績に加わったことや、本年9月に子会社化したSBI岡三アセットマネジメント株式会社の業績が初めて四半期全てで寄与したことなどもあり、前年同期と比較して、大幅に業績が拡大しております。

運用資産残高については、この2社にSBIアセットマネジメント株式会社及び米国Carret社を加えた当社グループ各社の合計で11.8兆円に達し、前年同期と比較して70.9%の増加を記録いたしました。なお、これらによりアセットマネジメント事業が当社連結業績に占める割合は売上高で91.8%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の8,652百万円から7,172百万円

(82.9%)の増収となる15,824百万円となりました。また、売上原価は、前年同期の4,280百万円から9,211百万円の115.2%増となる一方、販売費及び一般管理費は、前年同期の2,562百万円から3,775百万円の47.3%増にとどまりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の1,808百万円から1,029百万円(56.9%)の増益となる2,838百万円となりました。また、営業外損益は、前年同期と比べ純額で108百万円の増加であり、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の2,064百万円から1,138百万円(55.1%)の増益となる3,202百万円となりました。なお、SBI岡三アセットマネジメント株式会社に係る非支配株主持分等を考慮した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の1,300百万円から459百万円(35.3%)の増益となる1,759百万円となりました。

(注)当第3四半期連結累計期間において、2025年9月1日付でSBI岡三アセットマネジメント株式会社をみなし取得(連結)とし、その後の9月30日付で同社の子会社となった3社(以下、併せて「SBI岡三アセットマネジメントグループ」といいます。)を、同日から連結しております。

また、2025年12月1日付で吸収合併したSBIレオスひふみ株式会社の子会社7社(以下「レオスグループ」といいます。)を同日から新規連結しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績には、上記それぞれの期間業績(4か月、3か月、1か月)が反映されております。

連結開始から当四半期末までに、SBI岡三アセットマネジメントグループの売上高は5,779百万円、営業利益は804百万円、経常利益は844百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は289百万円を計上しております。

また、レオスグループの売上高は1,079百万円、営業利益は263百万円、経常利益もほぼ同額の263百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円を計上しております。

新規に傘下に加わった両グループはいずれも、当第3四半期連結累計期間における当社業績の増収増益に大きく寄与いたしました。

[連結業績の概要]

	2025年3月期第3四半期 連結累計期間		2026年3月期第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	比率(%)
売上高	8,652,253		15,824,817		7,172,563	82.9
営業利益	1,808,944	20.9	2,838,153	17.9	1,029,209	56.9
経常利益	2,064,477	23.9	3,202,211	20.2	1,137,733	55.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,300,249	15.0	1,759,821	11.1	459,571	35.3

連結売上高は第3四半期として、14期連続の増収、9期連続で過去最高売上を更新しました。

営業利益は第3四半期として、6期連続の増益、5期連続の過去最高益を記録しました。

経常利益は第3四半期として、17期連続の増益、14期連続の過去最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期として、6期連続の増益及び過去最高益を記録しました。

(2) 当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比較して31,495百万円増加し、49,753百万円となりました。これは、流動資産が27,744百万円増加し、固定資産が3,748百万円増加したことによるものであります。

流動資産の増加は、主として、現金及び預金の純増16,873百万円、顧客分別金信託の増加2,100百万円、売上債権の増加7,161百万円、営業投資有価証券の増加960百万円によるものであります。期末及び中間配当の支払いや、税金の確定納付及び中間納付に伴う減少はありましたが、全体としての大幅な増加は、期中に新規連結対象となった子会社が、第3四半期連結会計期間末時点で計上しているものであります。

固定資産の増加は、主として、建物附属設備の増加527百万円、ソフトウェアの増加454百万円、投資有価証券の増加2,385百万円、長期差入保証金の増加426百万円によるものであります。再編前の当社グループに係るものとして、投資有価証券は、投資信託等の基準価額の上昇や取得及び運用による増加715百万円、ソフトウェアではシステム統合による増加234百万円等がありました。主としては、流動資産と同様、期中に新規連結対象となった子会社が、当第3四半期連結会計期間末時点で計上しているものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比較して7,346百万円増加し、10,194百万円となりました。これは、流動負債が6,669百万円増加し、固定負債が676百万円増加したことによるものであります。

流動負債の増加は、主として、未払金の増加4,163百万円、その他流動負債の預り金の増加1,962百万円、中間納付後の未払法人税等及び未払消費税等が291百万円の純増となったことによるものであります。これらの増加額の大半につきましても、期中に新規連結対象となった子会社が、営業債務や未払税金として、第3四半期連結会計期間末時点で計上しているものであります。

固定負債の変動は、主として、期中に新規連結対象となった子会社が当第3四半期会計期間末時点で計上している固定負債によるものであります。その主なものは、繰延税金負債が137百万円、退職給付に係る負債が210百万円、資産除去債務313百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して24,148百万円増加し、39,558百万円となりました。これは主として、当第3四半期連結累計期間において実施した連結子会社の取得に伴う株式交付及び吸収合併により、資本準備金の増加8,478百万円、その他利益剰余金の増加6,550百万円、対象新子会社に係る非支配株主持分の増加8,528百万円等が生じたことによるものであります。

また、当第3四半期連結累計期間に1,759百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、2,113百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が純額で353百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が、投資有価証券の基準価額の変動等により、431百万円増加したことによるものであります。

(注) 当社は、2025年9月1日付でSBI岡三アセットマネジメント株式会社をみなし取得（連結）とし、その後9月30日付で同社の子会社となった3社（以下「岡三アセットマネジメントグループ」といいます。）を、同日から連結しております。

また、2025年12月1日付で吸収合併したSBIレオスひふみ株式会社の子会社7社（以下「レオスグループ」といいます。）を、同日から新規連結しております。

当第3四半期連結会計期間末の連結総資産及び連結総負債におけるそれぞれのグループの各金額は、岡三アセットマネジメントグループの総資産は11,555百万円、総負債は2,857百万円であり、レオスグループの総資産は12,142百万円、総負債は4,657百万円となっております。このように、両グループが新規に傘下に加わったことに伴う資産及び負債の増加が、主な変動要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場の動向について当期を通じて想定するのは難しく、故に当社グループの業績を合理的な算定で行うことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,008,192	20,881,762
売掛金	2,606,942	9,768,789
棚卸資産	1,868	8,123
未収入金	176,517	171,223
営業投資有価証券	-	960,082
顧客分別金信託	-	2,100,000
その他	394,189	1,042,307
流動資産合計	7,187,711	34,932,290
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	129,207	779,765
減価償却累計額	△56,736	△182,627
建物附属設備（純額）	72,470	597,137
工具、器具及び備品	190,956	510,373
減価償却累計額	△170,829	△391,952
工具、器具及び備品（純額）	20,127	118,421
使用権資産（純額）	175,866	115,784
有形固定資産合計	268,463	831,343
無形固定資産		
のれん	1,625,593	1,489,123
ソフトウェア	780,282	1,234,520
その他	8,907	14,018
無形固定資産合計	2,414,784	2,737,662
投資その他の資産		
投資有価証券	7,702,904	10,088,531
繰延税金資産	559,984	496,171
退職給付に係る資産	-	98,236
その他	124,545	566,866
投資その他の資産合計	8,387,435	11,249,806
固定資産合計	11,070,683	14,818,812
繰延資産		
株式交付費	247	2,541
繰延資産合計	247	2,541
資産合計	18,258,642	49,753,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,467	15,995
未払金	1,445,762	5,608,773
リース債務	71,332	71,376
未払法人税等	573,591	743,330
未払消費税等	140,710	261,928
賞与引当金	－	190,629
その他	491,888	2,521,395
流動負債合計	2,743,751	9,413,431
固定負債		
リース債務	104,534	44,407
役員退職慰労引当金	－	10,770
繰延税金負債	－	137,411
退職給付に係る負債	－	210,902
資産除去債務	－	313,260
その他	－	64,484
固定負債合計	104,534	781,236
負債合計	2,848,285	10,194,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,723,221
資本剰余金	4,528,571	13,007,450
利益剰余金	7,715,801	13,913,917
自己株式	△23	△26
株主資本合計	15,607,984	30,644,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△947,536	△516,304
為替換算調整勘定	582,100	467,678
その他の包括利益累計額合計	△365,436	△48,626
非支配株主持分	167,809	8,952,980
新株予約権	－	10,059
純資産合計	15,410,356	39,558,976
負債純資産合計	18,258,642	49,753,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	8,652,253	15,824,817
売上原価	4,280,455	9,211,072
売上総利益	4,371,797	6,613,744
販売費及び一般管理費	2,562,853	3,775,590
営業利益	1,808,944	2,838,153
営業外収益		
受取利息	98,002	97,427
受取配当金	108,188	41,829
投資有価証券売却益	49,100	124
暗号資産売却益	-	225,501
その他	3,176	4,695
営業外収益合計	258,467	369,578
営業外費用		
為替差損	1,327	2,964
株式交付費償却	1,323	627
その他	283	1,927
営業外費用合計	2,934	5,520
経常利益	2,064,477	3,202,211
特別利益		
投資有価証券償還益	-	20,015
特別利益合計	-	20,015
特別損失		
投資有価証券評価損	522	-
特別損失合計	522	-
税金等調整前四半期純利益	2,063,955	3,222,226
法人税、住民税及び事業税	708,339	1,097,546
法人税等調整額	35,618	67,369
法人税等合計	743,958	1,164,915
四半期純利益	1,319,997	2,057,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,747	297,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,300,249	1,759,821

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,319,997	2,057,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△553,175	423,308
為替換算調整勘定	12,162	△114,421
その他の包括利益合計	△541,013	308,887
四半期包括利益	778,984	2,366,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760,712	2,076,631
非支配株主に係る四半期包括利益	18,271	289,567

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高				-	
外部顧客への売上高	7,212,484	1,439,769	8,652,253	-	8,652,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	540	3,447	3,987	△3,987	-
計	7,213,025	1,443,216	8,656,241	△3,987	8,652,253
セグメント利益	1,570,246	612,116	2,182,362	△373,418	1,808,944

(注) 1. セグメント利益の調整額△373,418千円には、セグメント取引消去△540千円、各報告セグメントに配分していない全社費用372,877千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高				-	
外部顧客への売上高	14,521,133	1,303,683	15,824,817	-	15,824,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	507	5,177	5,684	△5,684	-
計	14,521,641	1,308,860	15,830,501	△5,684	15,824,817
セグメント利益	2,767,318	539,995	3,307,313	△469,160	2,838,153

(注) 1. セグメント利益の調整額△469,160千円には、セグメント取引消去△4,195千円、各報告セグメントに配分していない全社費用469,252千円、営業取引と営業外取引との消去に伴い生じた調整額4,287千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、報告セグメントのセグメント利益に含まれていた全社費用等をセグメント利益の調整額として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年8月20日開催の取締役会にて、資産運用会社SBI岡三アセットマネジメント株式会社の株式を簡易株式交付の方法により取得することを決議しました。2025年9月11日付で当社株式13,128,343株（うち100株は自己株式割当）の交付を行い、SBI岡三アセットマネジメント株式会社の株式の51%を取得することで、同社を子会社化いたしました。この簡易株式交付により、主として資本準備金が8,478,843千円増加し、連結資本剰余金の額に反映されております。

また、当社は、2025年9月30日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、SBIレオスひふみ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、同日付で吸収合併契約を締結いたしました。その後、2025年11月20日及び2025年11月21日に開催されたそれぞれの臨時株主総会において当該議案は可決され、2025年12月1日を効力発生日として本件吸収合併は完了しました。この合併により、主として利益剰余金が6,551,685千円増加（注）し、連結利益剰余金の額に反映されております。

※注：吸収合併消滅会社が有していた各子会社と、新たに資本連結を行った後の連結上の変動額であります。提出会社の単体財務諸表における変動額は主として、その他利益剰余金（繰越利益剰余金）の増加額は1,421,948千円、その他資本剰余金が5,119,097千円の増加となっており、連結と単体で金額がそれぞれ異なることとなります。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(吸収合併)

当社は2025年9月30日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、SBIレオスひふみ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、同日付で吸収合併契約を締結し、2025年12月1日付で当該吸収合併を行いました。

企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業内容

①. 吸収合併存続会社

名 称：SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

事業内容：ファイナンシャルサービス事業（資産運用全般に係る金融情報の提供等）、アセットマネジメント事業（投資運用業・投資助言業）の統括、経営管理

②. 吸収合併消滅会社

名 称：SBIレオスひふみ株式会社

事業内容：投資信託委託業務及び投資顧問業務（投資一任契約に係る業務）等を営むグループ会社の経営戦略策定、経営管理及びこれに附帯又は関連する業務

(2) 企業結合の目的

当社はSBIグループにおける資産運用事業の中核会社として、グループとしての総合力を活かした収益力の強化や事業運営コストの抑制を行っていくことが急務であり、当社がグループ内の資産運用事業等を一元的に統括する体制を整えることが有用であると考えたため本件吸収合併を行いました。

(3) 企業結合日 2025年12月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、SBIレオスひふみ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併方式

(5) 結合後企業の名称

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

(6) 合併に係る割当の内容

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社は、SBIレオスひふみ株式会社の普通株式1株につき普通株式0.36株の割合をもって、合計35,194,500株の株式を割当交付しました（注）。

（注：吸収合併契約締結の決議後、本件吸収合併の効力発生日までの間になされた新株予約権の行使に伴い増加した消滅会社株式への割当分を含んでおります。）

ただし、本件効力発生の時にSBIレオスひふみ株式会社が保有していた自己株式5,968,700株については、株式の割当てを行っていません。

また、本件吸収合併によりSBIグローバルアセットマネジメント株式会社が交付した株式は、全て新たに発行する同社の普通株式です。

(7) 企業結合に係るその他の事項

本件吸収合併により、当社はSBIレオスひふみ株式会社が有していた子会社株式を承継しております。従前の同社の各子会社は、存続会社である当社の子会社となりました。

(8) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	320,724千円	330,286千円
のれんの償却額	82,804	81,792